

「財務会計システム・人事給与関連システム統合基盤提供及び運用保守業務」契約結果

財務会計システム・人事給与関連システム統合基盤提供及び運用保守業務について、公募型プロポーザル方式で、受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

- 1 件名 財務会計システム・人事給与関連システム統合基盤提供及び運用保守業務
- 2 委託内容 財務会計システム・人事給与関連システム統合基盤提供及び運用保守業務を行う。
- 3 契約の相手方 日本電気株式会社
- 4 契約金額 888,953,187(円)
- 5 契約日 令和4年11月29日

6 評価結果

提案者	評価点数
日本電気株式会社	12,790 / 14,000
富士通Japan株式会社	10,890 / 14,000

7 評価基準・評価委員会開催経過等

委員会開催日時及び開催場所	令和4年7月6日 午後1時10分～午後3時45分 市庁舎18階共用会議室なみき19
評価委員の出席状況 「○」出席・「×」欠席	評価委員5人出席(充足率 5/5)
事務局	財政局財政部財政課 市川 豊田 西森 古澤
議事内容	評価の実施(業務実績及び提案内容のヒアリング、評価・審議)
評価基準	別紙のとおり

8 問い合わせ先

財政局財政部財政課 豊田、西森、古澤
電話 045-671-2237
FAX 045-664-7185
E-mail za-newzaimu-sys@city.yokohama.jp

提案書評価基準

項番	大項目	小項目	提案書記載内容	評価基準	主な関連資料 該当箇所	配点	配点小計
1	1 提案の 要旨	(1) 要旨	提案内容の要旨を示すこと。	提案内容の要旨が、体系的に整理され、簡潔かつ明確に示しているか。	・業務説明資料全体 ・【様式8】	100	100
2	2 提案者 について	(1) ワーク・ライフ・バランスに関する取組	以下に示す認定等の取得状況を示すこと。 ①次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみんマーク、プラチナくるみんマーク)の取得 ②女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定(えるぼし)の取得 ③若者雇用促進法に基づく認定(ユースエール)の取得 ④よこはまグッドバランス賞	取得数に応じて評価。	-	40	100
		(2) 障害者雇用に関する取組	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.3%の達成状況を示すこと。 ・達成している(従業員43.5人以上)、又は障害者を1人以上雇用している(従業員43.5人未満)	達成状況に応じて評価	-	40	
		(3) 健康経営に関する取組	以下に示す認定等の取得状況を示すこと。 ①健康経営銘柄、健康経営優良法人(大規模法人・中小規模法人)の取得 ②横浜健康経営認証のAAAクラス又はAAクラスの認証	取得状況に応じて評価	-	20	
5	3 全体に関する理解・対応	(1) 本業務の背景及び目的に対する理解	業務説明資料を踏まえ、本業務の背景と目的に対し、どのように理解しているか、それに対する考えとともに示すこと。	本業務の背景、目的及び効果について正しく理解していることが、提案者の考えとともに明確に示しているか。	・業務説明資料「第1 基本事項」 ・IaaS環境要件定義書「1 基本要件」	100	100
6	4 計画・体制・管理	(1) 計画	本業務の開始からシステム稼働に至る具体的なスケジュール及びWBSでの作業工程を提案すること。	スケジュール及びWBSを用いて、開発規模並びに試験や修正の期間を考慮した、実現性の見込める作業工程を示しているか。	・【様式8】	100	600
		(2) 関連する5システムの受入調整	関連する5システム(予算執行システム、予算・財務情報管理システム、資産管理システム、未収債権管理システム及び人事給与システム)の受入を確実にするための調整方法を提案すること。	関連する5システム(予算執行システム、予算・財務情報管理システム、資産管理システム、未収債権管理システム及び人事給与システム)の受入に向けた調整を効率的・効果的に進めるための工夫を示しているか。 スケジュールのどの部分が関連する5システムの構築に影響するか、どのように調整して、スケジュールを確定させるかについて、具体的に示しているか。	・【様式8】	100	
8	4 計画・体制・管理	(3) 体制図	本業務を推進する貴社の実施体制について、各作業工程に携わる従事者の役割・想定人数とともに提案すること。特に、開発プロジェクトを適切に管理するための体制上の工夫や、技術的な課題が発生した際の支援体制の工夫を中心に説明すること。 なお、各従事者については専任か兼任か明示し、兼任する従事者は本業務への参画割合を記載すること。	各作業工程に十分な従事者を割り当てているか。 開発プロジェクトを適切に管理するための体制上の工夫や、技術的な課題が発生した際の支援体制の工夫を明確に示しているか。	・【様式6】	100	
9		(4) 管理者の能力・実績	本業務全体を管理する「管理者」の能力及び実績について、本業務と業務内容や規模が類似している案件での実績を踏まえ、説明すること。	管理者は、本業務と同等規模のクラウドコンピューティング環境(以下「IaaS環境」という。)の設計構築、提供及びIaaS環境の保守運用業務の管理者又はそれに準ずる役割の経験があるか。 広い視野で全体最適を考え、本市や関連する5システムの開発事業者等との調整を円滑に進めることを期待できるか。コミュニケーション能力は十分か。	・【様式7】	100	
10	4 計画・体制・管理	(5) 主な従事者の能力・実績	機能仕様及び実現方式を統括する主な従事者の能力及び実績について、本業務と業務内容や規模が類似している案件での実績を踏まえ、説明すること。 なお、提案者が想定する本業務の体制において、機能仕様を統括する従事者と、実現方式を統括する従事者が異なる場合は、それぞれについて説明すること。	機能仕様を統括する従事者は、IaaS環境の提供及び保守運用における設計リーダー相当の経験はあるか。機能仕様を本市と調整し、受託者のチーム内に浸透させる能力を期待できるか。 実現方式を統括する主な従事者は、IaaS環境を構成する各種技術に精通しているか。システム全体を俯瞰して最適な実装方式を設計することを期待できるか。	・【様式7】	100	

項番	大項目	小項目	提案書記載内容	評価基準	主な関連資料 該当箇所	配点	配点小計
11		(6) 管理方法	進捗管理、リスク管理、問題管理、ToDo管理、成果物の品質管理、変更管理の実施方法、本市とのコミュニケーション計画及びその他プロジェクト管理に必要な実施項目を提案すること。特に、本市がプロジェクト状況を正確に把握し、必要なアクションを適切なタイミングでとれるようにするために、どのような工夫を設けているかを中心に説明すること。	進捗管理、リスク管理、問題管理、ToDo管理、成果物の品質管理、変更管理の実施方法及び本市とのコミュニケーション計画が、提案者の考えとともに具体的かつ明確に示しているか。 追加提案（提案者が「その他プロジェクト管理に必要な実施項目」と考えること）を含めた提案内容が、大規模プロジェクトであることを踏まえたものであり、プロジェクトのQCD（品質、コスト、納期）が満たせることを、理由や根拠とともに明確に説明できているか。	・【様式8】	100	
12	5 IaaS環境構築及び運用要件の実現	(1) IaaS環境要件の充足	要件を満たすための製品（サービス）を提案すること。 なお、利用する製品（サービス）はISMAPに登録されているサービスであること。	要件を満たすための製品（サービス）を提案しているか。大規模なクラウドでの利用実績のある製品（サービス）を提案しているか。提供内容は、会社としてのサポート体制などを含め、本市にとって有利な条件となっているか。	・IaaS環境要件定義書「2.1 IaaS環境の構成」 ・【様式10】 IaaS環境を構成する製品一覧	500	1900
13		(2) 運用コスト低減に関する提案	運用コスト低減に関する要件を満たすため、どの製品（サービス）をいつ、どのように利用するのが最適であるか考えるか具体的に記載すること。	①継続利用などによるディスカウントやアセスメントの実施並びにスポットインスタンスの活用やオートスケール等で、利用する製品（サービス）の利用料低減に資する提案となっているか。 ②IaaS利用料について、年度途中の実績推移や今後の推移予測が受託者と本市の間で共有できる提案となっているか。	・IaaS環境要件定義書「8 運用コストに関する要件」 ・【様式8】	300	
14		(3) 運用におけるリソース適正化に関する提案	IaaS環境の運用において、本市の求めるサービスレベルを満たすために有効な運用監視体制及び方式を具体的に記載すること。 加えて、リソースの見直しについて、定期的かつ有効なアセスメントの実施について具体的な方法を記載すること。	①運用監視体制は求めるサービスレベルを充足するか。 ②アセスメントの頻度や実行内容がリソースの最適化と効率化に有効と考えられる内容であるか。 ③最適かつ効率的な運用を長期的に実施するための提案となっているか。	・IaaS環境要件定義書「6 IaaS環境運用要件」 ・【様式8】	300	
15		(4) 拡張性に関する提案	拡張性に関する要件を満たす具体的な方法を記載すること。	将来想定されるサーバインスタンスの増加やリプレースに対応するための拡張性をどのように担保するか。インスタンス数の拡張のみならず専用ネットワーク接続の増速対応など実利用に影響を与える内容への拡張性を備えた構成を提案しているか。	・IaaS環境要件定義書「3.9 拡張性に関する要件」 ・【様式8】	100	
16		(5) 設計・構築に関する提案	本市が想定する設計及び構築方法に対し、より良い品質を提供できる方法、成果物及び品質向上効果を具体的に記載すること。	本市が想定している方法に比べ、具体的にどのような品質向上効果があり、それを実現するための具体的な方法を提案しているか。実績などの確かな根拠に基づき、実現可能なこと、効果的であることを説明できているか。	・業務説明資料「第3.2 IaaS環境設計及び構築」 ・【様式8】	200	
17		(6) 保守運用に関する提案	安定運用を図るために必要と考える運用保守サービスの内容、サポート体制のほか、運用コストの低減に資する構築上の工夫を提案すること。	安定運用を図る運用保守内容を提案しているか、また、運用コストの低減に資する構築上の工夫が示されているか。	・【様式8】	200	
18		(7) イレギュラーなサービス要求に関する提案	関連する5システムからの要望などにより、運用設計で定義していない想定外のサービス提供を求められる可能性がある。想定外のサービス提供依頼への対応方針を記載すること。	イレギュラーなサービス要求に柔軟に対応する意向が示されているか。追加費用の有無と理由、実現性など、適切な説明となっているか。	・【様式8】	100	
19		(8) 更なる活用に向けた提案	関連する5システムに関わらず、庁内の他のシステムにおける製品（サービス）の活用について、支援・コンサルティングなど実施可能な内容を提案すること。	本市にとって有益な提案をしているか。追加費用の有無と理由、実現性など、適切な説明となっているか。	・業務説明資料 ・IaaS環境要件定義書 ・【様式8】	200	
合計点							2800